

令和元年度 司書・司書補講習 講師プロフィール

いしい 石井	だいすけ 大輔	千葉県船橋市生まれ。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士前期課程修了。現在、島根県立大学人間文化学部地域文化学科准教授。島根県立図書館協議会委員、松江市立図書館協議会委員ほか。
いとう 伊藤	たみお 民雄	実践女子大学図書館勤務。現場の経験から「情報サービス」をアドバイスできたらと思います。現在、出版流通と図書館の資料選択を研究しています。主な著作は、『世界の出版情報調査総覧』、『インターネットで文献探索』2019年版。
うしぎま 牛崎	すすむ 進	地元で雨にもマケズの暖簾の人として見ていた宮澤賢治の大きさに気づいたのは、大学時代に全集を買って読んでからでした。卒業後、大学で図書館を中心に勤務し、委託化が進んでいる図書館の将来を支える職員・スタッフのキャリア形成のためのNPOを立ち上げて10年経ちました。
おかだ 岡田	やし 靖	体育会系の古い体質のスポ根お爺さんです。趣味は野球と料理です。料理でもいわゆる男の料理ではなく、主婦の料理を得意としています。授業の合間にそのようなお話も挟ませていただきたいと思います。授業は特に教科書は使用せず、こちらで用意した問題に解答していくという方法をとります。黒板の代わりに、パソコンの画面を使用します。
かたやま 片山	ふみ ふみ	聖徳大学文学部文学科准教授。図書館情報学(博士)。北海道の大自然の中、読書家の父にたくさんの児童書を与えられて育ちました。出版者、図書館員など、絵本や児童書を生みだし、与える大人たちの意識に興味をもち研究を行っています。
きと 木戸	ゆたか 裕	国立国会図書館に33年間勤務し、その多くの期間を国会議員の立法活動を補佐する部署で過ごしました。退職後はいくつかの大学で、図書館司書・司書教諭の科目のほかに、比較教育学、教育制度論、日本語リテラシー、ドイツ語文献講読などの授業も担当しています。
こみなみ 小南	りえ 理恵	奈良県出身。聖徳大学兼任講師。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程在学中。知的自由の観点からアメリカの図書館と出版社の関係について研究しています。
せん 千	すげつ 錫烈	幼少時代に、近所に公共図書館が開館したことが、私と図書館との長い付き合いの始まりでした。公共図書館での勤務を経て、現在は関東学院大学にて図書館司書課程を担当しています。最近では東日本大震災で被災した岩手県内の図書館の支援活動を行っており、水損資料の修復作業やデジタルアーカイブなどに取り組んでいます。
たかなし 高梨	あきら 章	元関東学院大学兼任講師。大学図書館勤務歴39年。東京大学明治新聞雑誌文庫に出かけたとき、聖徳大学司書講習の教え子とめぐりあったのは、近年のとても嬉しい出来事でした。主な著作『高梨章書誌選集』(金沢文圃閣)、絵本『へへののもへじ』(林明子・絵 福音館書店)ほか。
たなべ 田邊	みのる 稔	NTT→NTTデータ→慶應義塾大学メディアセンター(図書館)→国立情報学研究所(NII)と渡り歩き、2013年に独立・起業(株式会社エムエムツインズ創業)。自称「パイレーツ・オブ・ライブラリアン」。学術情報やSNSの海を縦横無尽に駆け巡り、エビデンスに基づいた確かな知を届けたい。2016年度より筑波大学図書館情報メディア研究科非常勤講師を兼任。
てじま 手嶋	たかのり 孝典	元町田市立図書館長(現在、和光大学、明星大学、大東文化大学、東京学芸大学兼任講師)。町田の図書館活動をすすめる会代表。日本病院患者図書館協会会員。三多摩図書館研究所所員。『ず・ぼん』編集委員。特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩理事。国分寺市立図書館運営協議会会長。著書『図書館制度・経営論 第2版』(共著・学文社、2017)
とよこだ 常世田	りょう 良	浦安市立図書館長、同市生涯学習部次長、日本図書館協会事務局次長を経て立命館大学文学部教授。筑波大学大学院博士前期課程修了。オーテピア高知図書館サービス計画推進委員、堺市立図書館協議会会長、千代田区立図書館評議会委員など 著書『浦安図書館にできること』など。
にしまき 西巻	えつこ 悦子	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程単位修得満期退学。秋草学園短期大学で児童サービス論を担当。早稲田大学・昭和女子大学・駒沢女子大学・和洋女子大学兼任講師。幼児心理アドバイザー。

<p>にしむらみとし 西村美東士</p>	<p>元聖徳大学教授。東京都社会教育主事や国立社会教育研修所の時代に、図書館司書研修を企画、運営し、図書館の魅力に気づいた。とくに、私のライフワークである青少年教育については、彼らをヤングアダルトとして尊重する図書館の支援理念から多くを学んだ。</p>
<p>のぐち やすひと 野口 康人</p>	<p>栃木県出身。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。情報学（博士）。現在、聖徳大学短期大学部総合文化学科准教授。情報処理学会グループウェアとネットワークサービス研究会運営委員。図書館情報学橋会理事。</p>
<p>のなか ひろふみ 野中 博史</p>	<p>聖徳大学名誉教授。新聞社勤務、宮崎公立大学教授を経て、聖徳大学。著書・論文は『生命操作社会からの警告ーデス・コントロール』（三一書房）、『リスク情報における蓋然性と報道萎縮の考察』（宮崎公立大学紀要）、『報道による意見形成効果ー意見の寡占化とその修正ー』（同）、『高木兼寛論』（同）など。</p>
<p>ふじくら けいいち 藤倉 恵一</p>	<p>文教大学越谷図書館主任司書。日本図書館協会分類委員会委員。著書に『日本十進分類法の成立と展開』（樹村房）『図書館のための個人情報保護ガイドブック』（日本図書館協会）、主な共著書に『情報資源組織演習』（ミネルヴァ書房）『情報サービス論』（学文社）『絵本で読みとく宮沢賢治』（水声社）など。</p>
<p>ふじもり さとみ 藤森 聡美</p>	<p>北欧の地域密着型図書館に注目しています。また、「発達・学習」について、習得手法の違いにより生じる差異を研究しています。郷土史調査では、地元信州の藩校時代からの蔵書群や、一藩士が個人収集した蔵書群及び目録（毛筆記載）を拝見し、感慨を覚えました。</p>
<p>むらやま たかお 村山 隆雄</p>	<p>1973年、九州大学大学院理学研究科修士、同年4月、国立国会図書館に入館。閲覧、レファレンス、図書館協力、資料保存、国会サービス等に従事し、2009年、定年退職。2010年、国際協力機構（JICA）のシニア・ボランティアとしてネパール国立図書館にて活動。2011～2013年、日本国際児童図書評議会（JBBY）会長。2013年4月より、聖徳大学文学部文学科（図書館情報コース）教授。</p>
<p>もり あかね 森 茜</p>	<p>大学卒業後、文部省に入省。文部省調査局調査課図書係をスタートに、学術局研究助成課等を経て、国立大学の管理職に転出。東京学芸大学・一橋大学の図書館課長、東京学芸大学・筑波大学の図書館部長などを歴任の後、図書館情報大学事務局長。社団法人日本図書館協会理事長。</p>
<p>やまぐち ひろし 山口 洋</p>	<p>中央大学、法政大学、東海大学、昭和女子大学、駒澤大学他で図書館情報学・歴史学を教える。大学図書館勤務18年。町田市立図書館協議会会長（―2019年7月まで）、町田の図書館活動をすすめる会会員。近年の研究テーマは、住民自治と公共図書館。</p>
<p>わたなべまきこ 渡辺真希子</p>	<p>神奈川県立こども医療センター臨床研究所図書室 図書館情報学（修士）。聖路加国際大学後期博士課程退学。これまで公共・大学図書館での勤務経験があります。現在の専門病院では図書室司書兼研究員として勤務しています。専門は健康情報学、図書館学です。情報学及び患者教育の視点から患者及び健康消費者の情報探索行動の研究をしています。これまでの館種を越えた経験を活かし、横断的な知見から分かりやすく図書館の行政的位置づけ及び経営を論じます。</p>